

南ア月報
(2019年5月)

【内政】

- 総選挙の実施
- 総選挙の結果発表
- 国民議会（下院）議長・副議長の選出
- 国民議会（下院）におけるラマポーザ大統領の選出
- 各州首相の選出
- 全国州評議会議長・副議長の選出
- 内閣改造：大統領発表

【外政】

- ラマポーザ大統領への信任状捧呈
- 閣僚議院議員（総理特使）の大統領宣誓就任式出席

【経済】

<経済指標>

- 消費者物価指数（CPI）
- 為替レート
- 製造業生産高
- 鉱業生産高
- 自動車販売台数

<出来事>

- 第4回日本・南アフリカ大学フォーラムの開催
- OECDによる経済成長率予想の下方修正
- Anglogold Ashanti 社の鉱山事業からの撤退

【広報・文化】

- 日本留学フェアの開催

【警備】

- タウンシップ内の小学校における強盗事件
- ヨハネスブルグCBDにおける防犯カメラ及び事件即応部隊の運用開始

1 内政

●総選挙の実施

8日、投票箱の到着遅延や選挙担当者の遅刻等によって一部投票所の開所に遅延が生じたが、全国約2万3千ヶ所の投票所のほとんどで午前7時から投票が始まった。選挙前に抗議行動が発生した都市部タウンシップ（旧黒人居住地域）でも大きな動きは見られず、情勢は概ね平穏に推移した。

●総選挙の結果発表

11日午後6時過ぎ、マシニニ南ア選挙委員会委員長は、プレトリアの選挙中央集計センターにおいて、総選挙の最終結果を発表した。

【国民議会（下院）選挙】（投票率65.99%、下記括弧内は2014年選挙数値、議会定数400）
参加48政党のうち、14政党が議席を獲得した。

・アフリカ民族会議（ANC）	230議席	57.50%	（249議席 / 62.15%）
・民主同盟（DA）	84議席	20.77%	（89議席 / 22.23%）
・経済的解放の闘士（EFF）	44議席	10.79%	（25議席 / 6.35%）
・インカタ自由党（IFP）	14議席	3.38%	（10議席 / 2.40%）
・自由戦線（FF+）	10議席	2.38%	（6議席 / 1.57%）
・アフリカ・キリスト教民主党（ACDP）	4議席	0.84%	（3議席 / 0.67%）
・統一民主運動（UDM）	2議席	0.45%	（4議席 / 1.00%）
・アフリカ改革運動（ATM）	2議席	0.44%	（新党）
・グッド（GOOD）	2議席	0.40%	（新党）
・国家自由党（NFP）	2議席	0.35%	（6議席 / 1.57%）
・アフリカ独立会議（AIC）	2議席	0.28%	（3議席 / 0.53%）
・国民会議（COPE）	2議席	0.27%	（3議席 / 0.67%）
・汎アフリカ会議（PAC）	1議席	0.19%	（1議席 / 0.21%）
・アルジャマ（ALJAMA）	1議席	0.18%	（0議席 / 0.14%）

【州議会選挙】（上位3政党、括弧内は最終投票率）

- （1）ハウテン州（68.28%）：ANC50.19%、DA27.45%、EFF 14.69%
- （2）西ケープ州（66.28%）：DA 55.45%、ANC 28.63%、EFF 4.04%
- （3）東ケープ州（59.51%）：ANC 68.74%、DA 15.73%、EFF 7.84%
- （4）北ケープ州（64.12%）：ANC 57.54%、DA 25.51%、EFF 9.71%
- （5）KZN州（65.15%）：ANC 54.22%、IFP 16.34%、DA 13.90%
- （6）リンポポ州（56.36%）：ANC 75.49%、EFF 14.43%、DA 5.40%

- (7) ムプマランガ州 (63.20%) : ANC 70.58%、 EFF 12.79%、 DA 9.77%
- (8) 自由州 (61.35%) : ANC 61.14%、 DA 17.58%、 EFF 12.58%
- (9) 北西州 (57.01%) : ANC 61.87%、 EFF 18.64%、 DA 11.18%

●国民議会（下院）議長・副議長の選出

22日、総選挙後初の国民議会（下院）が招集され、同議会議員の就任宣誓に続き、以下のとおり、国民議会議長並びに同副議長の選出が行われた。

- (1) 国民議会議長：タンディ・モディセ (Ms. Thandi MODISE)
前・全国州評議会（上院）議長（2014年～2019年）
- (2) 国民議会副議長：レツェサ・ツェノリ (Mr. Letsesa TSENOLI)
2014年から同職、留任。

●国民議会(下院)におけるラマポーザ大統領の選出

22日午後、正副議長の選出に続き、国民議会(下院)にて、大統領候補者として、与党 ANC から推薦のあったラマポーザ同党総裁のみがノミネートされ、無投票にて選出された。ラマポーザ大統領は、「大統領としての選出を謙虚に受け止め、与党のみならず、南ア国民全体の大統領として国造りに最善を尽くす、社会的公正を実現するマンデートのもと、経済再建、雇用創出など、人々の期待を具体的な形で実現したい、常に大衆の気持ちを汲みとる努力をし、難しい問題も粘り強くコンセンサスを形成してソーシャル・コンパクトを構築するのが自分の使命である」旨発言した。

●各州首相の選出

22日、総選挙後初の各州議会が招集され、以下のとおり、各州首相が選出された。

- (1) 東ケープ州：オスカー・マブヤネ (Mr. Oscar MABUYANE) : ANC
- (2) 自由州：セフォラ・ヒクソニア・ントンベラ (Ms. Sefora Hixsonia NTOMBELA) : ANC (再選)
- (3) ハウテン州：デイビッド・マクラ (Mr. David MAKHURA) : ANC (再選)
- (4) クワズールー・ナタール州：シーレ・ズィカララ (Mr. Sihle ZIKALALA) : ANC
- (5) リンポポ州：スタンレー・マタバタ (Mr. Stanley MATHABATHA) : ANC (再選)
- (6) ムプマランガ州：レフィルウェ・ムツウェニ (Ms. Refilwe MTSWENI) : ANC (再選)
- (7) 北西州：テボホ・ジョブ・モホロ (Mr. Tebogo Job MOKGORO) : ANC (再選)
- (8) 北ケープ州：ザマニ・サウル (Mr. Zamani SAUL) : ANC
- (9) 西ケープ州：アラン・ウィンデ (Mr. Alan WINDE) : DA

●全国州評議会議長・副議長の選出

23日、総選挙後初の全国州評議会（上院）が招集され、同議会議員の就任宣誓に続き、

以下のとおり、全国州評議会議長並びに同副議長の選出が行われた。

- (1) 全国州評議会議長：エイモス・マソンド (Mr. Amos MASONDO)
元ヨハネスブルグ市長 (2000年～2011年)
- (2) 全国州評議会副議長：シルビア・ルーカス (Ms. Sylvia LUCAS)
元・北ケープ州首相 (2013年～2017年)

●内閣改造：大統領発表

29日午後9時すぎ、ラマポーザ大統領は、新内閣を発表した。閣僚ポストの統廃合が発表され、内閣ポストは現行の36から28に削減された。新たに任命された閣僚らの就任宣誓が翌30日に行われ、新内閣が発足した。

【閣僚ポストの統廃合】

- (1) 「経済開発」と「貿易産業」を「貿易産業」に統合。
- (2) 「高等教育」と「科学技術」を「科学技術」に統合。
- (3) 「環境」と「森林・水産」を「環境・森林・水産」に統合。
- (4) 「農業」と「土地改革・農業開発」を「農業・土地改革・農業開発」に統合。
- (5) 「鉱物資源」と「エネルギー」を「鉱物資源・エネルギー」に統合。
- (6) 「住宅」と「水・衛生」を「住宅・水・衛生」に統合。
- (7) 「スポーツ・娯楽」と「芸術・文化」を「スポーツ・芸術・文化」に統合。

【副大統領】

副大統領：デイビッド・マブーザ (留任)

【大臣】

- (1) 農業・土地改革・地方開発大臣：トコ・ディディザ (元・農業大臣、ANC総裁室長)
- (2) 基礎教育大臣：アンジー・モツェハ (留任)
- (3) 通信大臣：ステラ・ヌダベニ=アブラハムズ (留任)
- (4) 協調統治・伝統業務大臣：ヌコサザナ・ドラミニ=ズマ (前・大統領府大臣 (計画・パフォーマンス・モニタリング・評価担当))
- (5) 国防・退役軍人大臣：ノシヴィウエ・マピサ=ヌカクラ (留任)
- (6) 環境・森林・水産大臣：バーバラ・クリーシー (前ハウテン州財務大臣)
- (7) 雇用・労働大臣 (「雇用」を追加)：トゥーラス・ヌゲシ (前・公共事業大臣)
- (8) 財務大臣：ティト・ムボウエニ (留任)
- (9) 保健大臣：ズウェリ・ムキゼ (前・協調統治・伝統大臣)
- (10) 高等教育・科学技術大臣：ブレード・ヌジマンデ (前・運輸大臣)
- (11) 内務大臣：アーロン・モツォアレディ (前：保健大臣)

- (12) 住宅・水・衛生大臣：リンディウエ・シスル（前・国際関係・協力大臣）
- (13) 国際関係・協力大臣：ナレディ・パンドール（前・高等教育・訓練大臣）
- (14) 法務・矯正大臣：ロナルド・ラモラ（元 ANC 青年同盟副総裁）
- (15) 鉱物資源・エネルギー大臣：グウェーデ・マンタシェ（前鉱物・資源大臣）
- (16) 警察大臣：ベキ・ツェレ（留任）
- (17) 大統領府大臣：ジャクソン・ムテンブ（元 ANC 院内総務）
- (18) 大統領府大臣（女性・青年・障がい者担当）：マイテ・ヌコアナ＝マシャバネ（前・土地改革・地方開発大臣）
- (19) 公共企業大臣：プラヴィン・ゴードン（留任）
- (20) 公共サービス・管理大臣：センゾー・ムクヌ（前 ANC 中央組織委員）
- (21) 公共事業・インフラ大臣（「インフラ」を追加）：パトリシア・デ・リル（前ケープタウン市長、野党「GOOD」党からの入閣）
- (22) 中小企業開発大臣：クムブゾ・ヌチャベニ（前リンポポ州 ANC 報道官）
- (23) 社会開発大臣：リンディウエ・ズールー（前・中小企業開発大臣）
- (24) スポーツ・芸術・文化大臣：ナティ・ムテトワ（前・芸術・文化大臣）
- (25) 国家安全保障大臣：アヤンダ・ドロドロ（前・行政サービス・管理大臣）
- (26) 観光大臣：ヌケサニ・クバイ＝ヌグバネ（前・科学技術大臣）
- (27) 貿易産業大臣：イブラヒム・パテル（前・経済開発大臣）
- (28) 運輸大臣：フィキレ・ムバルラ（前・ANC 選挙対策委員長）

3 副大臣

- (1) 農業・土地改革・地方開発副大臣（2名）：スドゥモ・ドラミニ（元 COSATU 総裁）、ムセビシ・スクワチャ（留任）
- (2) 基礎教育副大臣：レジーナ・ムハウレ（前・国際関係・協力副大臣）
- (3) 通信副大臣：ピンキー・ケカナ（留任）
- (4) 協調統治・伝統業務副大臣：パークス・タウ（元ヨハネスブルグ市長）、オベド・バペラ（留任）
- (5) 国防・退役軍人副大臣：タバング・マクウェトラ（前・法務・矯正副大臣）
- (6) 環境・森林・水産副大臣：マギー・ソトユ（前・芸術・文化副大臣）
- (7) 雇用・労働副大臣：ボイトゥメロ・モロイ
- (8) 財務副大臣：デイビッド・マソンド
- (9) 保健副大臣：ジョー・パーシュラ（留任）
- (10) 高等教育・科学技術副大臣：ブティ・マナメラ（留任）
- (11) 内務副大臣：ヌジャブロ・ヌズザ
- (12) 住宅・水・衛生副大臣（2名）：パム・ツウェテ（前・水・衛生副大臣）、デイビッド・マシュロボ

- (13) 国際関係・協力副大臣 (2名) : アーヴィン・ボーテス (元・北ケープ州住宅・伝統業務大臣)、キャンディッシュ・マシェホ=ドラミニ (前・地方開発・土地改革副大臣)
- (14) 法務・矯正副大臣 (2名) : ジョン・ジェフリー (留任)、インコスイ・パテキレ・ホロミサ (前・労働副大臣)
- (15) 鉱物資源・エネルギー副大臣 : バヴェリレ・シュロンガ
- (16) 警察副大臣 : カッセル・マターレ (前・中小企業開発副大臣)
- (17) 大統領府副大臣 : テンビ・シウエヤ
- (18) 大統領府副大臣 (女性・青年・障がい者担当) : ヘンギウエ・ムキゼ (元経済開発副大臣)
- (19) 公共企業副大臣 : プムロ・マスアレ
- (20) 行政サービス・管理副大臣 : シンディ・チクンガ (前・運輸副大臣)
- (21) 公共事業・インフラ副大臣 : ノコロ・キヴィエト
- (22) 中小企業開発副大臣 : ローズマリー・カパ
- (23) 社会開発副大臣 : ヘンリエッタ・ボゴパネ=ズールー (留任)
- (24) スポーツ・芸術・文化副大臣 : ノカウエ・マフ
- (25) 国家安全保障副大臣 : ズィズィ・コドワ (元 ANC 報道官)
- (26) 観光副大臣 : フィッシュ・マシュラレラ
- (25) 貿易産業副大臣 (2名) : フィキレ・マジョーラ、ノマルンゲロ・ジナ
- (26) 運輸副大臣 : ディケレディ・マハツィ

2 外政

●ラマポーザ大統領への信任状捧呈

15 日、丸山則夫駐南アフリカ日本国大使は、ラマポーザ大統領に対し信任状の捧呈を行った。日本のほか、ウクライナ、モンテネグロ、ボツワナ、ギニア、ギリシア、イラク、イタリア、ナイジェリア、ドミニカ共和国、アルゼンチン及びセルビアの大使が信任状を捧呈した。

●関衆議院議員 (総理特使) の大統領就任式出席

25 日、関芳弘衆議院議員 (経済産業副大臣) は、安倍晋三内閣総理大臣の特使として、プレトリアのロフトス・ヴァースフェルド・スタジアムにて執り行われたラマポーザ大統領の就任式に参列するため、南アフリカ共和国を訪問した。同式典では、南アフリカ政府要人やアフリカ各国の国家元首を含む外国からの参列者、市民等出席の下、ラマポーザ大統領による宣誓、就任演説等が行われた。関特使は、ラマポーザ大統領に安倍総理大臣からの親書を手交するとともに、大統領就任に対する祝意を表した。

3 経済

<経済指標>

●消費者物価指数（CPI）

4月の消費者物価指数（CPI）は、前月の4.5%から4.4%に3月の消費者物価指数（CPI）は、前月から0.4%増の4.5%に上昇。特に、交通費が先月比2.8%増となり、燃料価格の高騰による影響がみられる。（南ア統計局、5月22日）

●為替レート

2019年5月31日付（南ア準備銀行）

7.3746 円/ランド

14.7581 ランド/米ドル

16.4574 ランド/ユーロ

●製造業生産高

3月の製造業は、前年同月比1.2%増。主なプラス要因は、石油、化学製品、ゴム及びプラスチック製品で7.0%増、鉄鋼、非鉄金属製品及び電気機器で3.2%増、食品、飲料品で1.0%増。季節調整後生産高は、前月比0.8%増となり、2ヶ月連続でのマイナス生産から持ち直した。他方、2019年第1四半期の季節調整後生産高は、製造業10部門中7部門で製造減となり、製造業全体では前期比2.4%減となった。（南ア統計局、5月9日）

●鉱業生産高

3月の鉱業生産高は、前年同月日1.1%減。主な要因は、金で17.7%減及び非金属鉱物で8.1%減、他方、石炭は5.7%増となった。季節調整後生産高は、前月比3.8%増。2019年第1四半期の季節調整後生産高は、前期比3.4%減となり、主に金で35.4%減、マンガン鉱石で9.4%減、及び鉄鉱石で5.3%減が影響した。（南ア統計局、5月9日）

●自動車販売台数

5月の自動車販売台数は、国内販売及び国外販売共に今年に入って初めて落ち込み、国内販売40506台となり、前年同月比5.7%減。国外販売の29963台は、前年同月比8.8%減を記録。（南ア自動車工業界（NAAMSA）、6月3日）

<出来事>

●第4回日本・南アフリカ大学フォーラムの開催

5月23-24日、プレトリア大学のFuture Africa Campusにて第4回日本・南アフリカ大学フォーラムが開催された。パンドール高等教育訓練大臣（当時）、丸山駐南ア大使をはじめ、南アからは、15の国立大学、日本からは33の大学及び研究機関から延べ220名を超え

る参加者が一同に介し、総テーマ「The Human Being in the 21st Century in the Context of Global Changes」に関する 70 近くの研究発表が行われた。学術交流及び共同研究に関する、両国政府及びファンド機関らの出席のもとで議論された。

●OECDによる経済成長率予想の下方修正

OECDは、2019年の南ア経済成長率予想を前回3月発表時の1.7%から1.2%に下方修正。OECDによると、南ア政府による雇用創出と経済成長を促す確実な戦略はもちろん、市場競争の活性化も必要であると指摘。(ビジネスデイ電子版、5月22日)

●Anglogold Ashanti 社の鉱山事業からの撤退

9日、南アにおいて1世紀以上も金鉱山を牽引してきたAnglogold Ashanti社は、今般、南ア国内に残る金鉱山を売却する方針であることを発表。実質、南アの鉱山事業からの撤退となる。同社は、2年ほど前から経営改革をおこない、昨年は2000人分の雇用削減も行っていった。

4 広報・文化

●日本留学フェアの開催

文部科学省「日本留学海外拠点連携推進事業(アフリカ・サブサハラ地域)」(北海道大学が受託)主催による日本留学フェアが、プレトリアにおいて22日に開催され、約320名の南ア人学生らが来場した。当館のほか日本から12大学の関係者及び国費留学経験者が登壇し、それぞれの留学制度等について説明したほか、各自のブースにて個別に学生らの進路相談に応じた。来場者からは「日本で学ぶ具体的なイメージが出来た」など、好評だった。

5 警備

●タウンシップ内の小学校における強盗事件

13日、ツワネ市マメロディに所在する小学校をアメリカの生徒及び引率者、合わせて19人が訪問したところ、少なくとも5人以上の武装強盗団に襲われた。強盗団は、パソコン、携帯電話、カメラ、アメリカドル等を強奪して逃走した。強盗団の発砲により、受け入れ校の関係者が負傷する事態となった。捜査当局は、アメリカの生徒が来訪することを知った強盗団による計画的犯行であるとしている。

●ヨハネスブルグCBDにおける防犯カメラ及び事件即応部隊の運用開始

ヨハネスブルグ市は犯罪撲滅を目的として、同市CBDにおいて、防犯カメラ及び事件に即応するメトロ警察私服部隊の運用を開始した。防犯カメラにより犯罪多発エリアを24時間監視し、防犯カメラ映像により犯罪を認知した場合は、CBDにて警戒中のメトロ警

察私服部隊が事件に即応する。防犯カメラは 400 台以上が設置され、80 人の私服部隊が活動を開始しており、今後、体制が拡大される予定である。